

東義大学での語学研修をおえて

名寄市立大学栄養学科2年・横野 早紀

今回私は10日間韓国釜山にある東義大学で語学研修に参加してきました。私は以前から韓国に興味があったため黄先生がこの語学研修を教えてくださいましたときに必ず行こうと思い参加しました。

今回のプログラムでは釜山へ行き語学を学ぶだけでなく多くのことを体験することが出来ました。その中でも私はプログラムの一つであった韓国の伝統的な楽器であるサムルノリ体験がとても思い出に残っています。テレビなどで見たことはありましたが実際に行うのは初めてだったのでとても難しかったのですが、とても楽しく体験することが出来ました。さらに今回の語学研修プログラムでは名寄市立大学からは7人が参加したのですが、日本人1人に対して韓国人のチューターさんが1人ついてくださいました。チューターさんは午後からの会話練習をしてくださったり、フリーの時間に海など釜山にある様々なところに連れて行ってくださったりしたので韓国にいる間すごく充実した日々を過ごすことが出来ました



東義大学の語学研修に参加して本当によかったと思いました。伝統的なサムルノリなどの体験はただ旅行に行くというときには体験できないものです。こういった研修に参加したことでサムルノリの楽しさを実際に感じる事が出来ました。さらに多くの方との出会いも自分にとっていい経験となりました。韓国語の先生やチューターの方々には本当にお世話になり韓国語をもっと勉強していろいろ教えていただきたいと思いました。さらにソウルへ行った際に黄先生の知り合いの方にも会わせていただきました。まだ、私は韓国語が話せるわけではなかったため先生に通訳していただきながらのお話だったのですが、とても優しい方々ばかりで次は自分の言葉でお話したいと思うきっかけになりました。

この語学研修に行ったことで私は1年間の留学もしたいと思いました。将来、人と接する仕事に就く自分には海外へ行き多くの人と出会い、様々な体験をすることで考え方も多様になると思ったからです。しかし、まだ名寄市立大学は姉妹校提携を行っていないため1年間の留学には費用が多くかかってしまうと聞き、ためらってしまいました。就職してしまうとなかなか他国の方と交流するという事は難しくなってくるもの

だと思ひます。大学に在るうちに多くの経験をしてみることは将来自分が就職したときに大きな力となると思ひます。多くの海外の方が日本へ来ている今、日本語だけでなく多くの言葉を話せることで日本人だけでなく海外の方のケアもできるようになることが必要だと思ひます。そのため大学には留学をしやすい環境を整えていただきたいと思ひました。

